

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)戸室ハイソ(2)新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県厚木市戸室5丁目1193番12	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	116人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2016年1月22日
敷地面積	3,367㎡	作成者	株式会社創和加藤設計
建築面積	990㎡	確認日	2016年1月22日
延床面積	3,634㎡	確認者	株式会社創和加藤設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	<p>公共住宅法に基づいて設計した市営住宅であり、1階には車いす利用者用住戸を配置、各所に手摺やスロープを設けフラットな導線にするなど、バリアリゼーションを図っている。また、同区域内に同用途の既存住居棟があるため、差別化を生まないよう同等程度の仕様となるよう考慮している。</p>	その他
Q1 室内環境	<p>外皮性能においては、住居部分は日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」の等級4を取得し、外部からの熱的影響を抑制するよう努めている。居室に大きな開口を確保し、昼光及び通風を室内へ取り入れる設計。</p>	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	<p>日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」の等級4を取得することで、室内外の熱移動を低減し、空調機の使用エネルギー量の削減に努めている。屋根に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効活用を計画している。</p>	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	<p>バリアリゼーション法及び神奈川県みんなのバリアリゼーション街づくり条例の基準を満たした設計。1階には、車いす利用者に配慮した住居を2戸設けている。</p>	その他
LR2 資源・マテリアル	<p>再生材及び再利用可能な部材を採用することで資源の無駄遣いを削減している。</p>	その他

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される